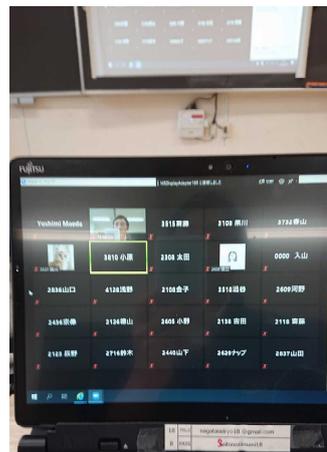




## ➡ 6月14日（日）東京グローバル10、ニュージーランド姉妹校交流参加 OB・OG によるワークショップ（オンライン）

6月14日（日）に東京グローバル10、ニュージーランド姉妹校交流参加OB・OGによるワークショップが、Zoom を利用して実施されました。この企画は、新型コロナウイルス感染症の影響で夏季休業中の海外研修が中止となるなか、これまでの海外研修に参加された先輩方が、自分たちが学んできたものを少しでも今年での研修生に学んで欲しいとの想いで企画され、実施されました。



### 実施内容

第1部	<p><b>卒業生*による講演 テーマ「食料問題とは何か」</b></p> <p>※日比谷卒。在学中に海外に留学経験あり。 東京大学農学部にて在学。食料問題に強い関心を持ち、子ども食堂でのボランティア等国内の食料問題の解決に携わる。</p>
第2部	<p><b>グループワーク</b></p> <p><b>問い「食料問題を解決するには？」</b></p> <p>あなたはグローバルリーダーとして、世界各国の首脳、国際機関の幹部、大企業の経営者をはじめとしたグローバルリーダーに対して提言を行います。今後5年間で食料問題の解決を少しでも・確実に前進させるためには、どんな施策が有効でしょうか？</p> <p>チームで施策を構想し、発表資料を作成してください。1時間のグループワークの後、4分間のプレゼンテーションを行っていただきます。</p>
第3部	<p><b>プレゼンテーション</b> 下記は各グループから出された提言の着眼点</p> <p><u>Aグループ</u>「コロナで失業した人々への救助策を食料問題にもつなげられないか」 <u>Bグループ</u>「日本の路上生活者の社会復帰の支援」 <u>Cグループ</u>「紛争地帯での飢餓」 <u>Dグループ</u>「先進国における生産-消費段階でのフードロス」 <u>Eグループ</u>「フードテック」</p> <p><b>フィードバック</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>ワークショップのテーマは、課題解決のプロセスの疑似体験</b> One of 課題の食料問題のうち、さらに One of 食料問題を課題に設定し、実現可能性の高い施策を打つ。</li> <li>• <b>世界から課題は確実に減少している</b> もちろん世の中にはまだまだ課題は多いが、大きなトレンドとして世界の課題は確実に少なくなりつつある。</li> <li>• <b>「どんな問いに答えを出すか」がますます重要な時代に</b> かつての世界は問題であふれかえっていたが、現在の世界は改善されつつある。それに伴って、<b>課題を発見し、設定することがますます重要度を増している。</b></li> </ul>

毎年、東京グローバル10では、「食料問題の解決に対する提言」を取り組み課題としています。同じ課題に取り組んできた先輩方のアドバイスは、今年度、同課題に取り組む研修生にとって貴重な示唆となりました。先輩方ありがとうございました！

## ➡ 京都大学 ELCAS (エルキャス) オンライン2020



今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、様々な企画がオンライン実施となっています。この京都大学 ELCAS もその一つ。例年は決められた土曜日に京都まで新幹線（交通費個人負担）で移動して講義に参加する必要がありましたが、今年度は自宅にて京都大学の講義を体験することができます！日比谷高校のオンライン授業でも利用していた Zoom での開催のため、抵抗なく参加することができるでしょう。感染症の影響で活動が制限されることが多くなっていますが、こうした企画は以前よりも利用しやすくなっています。高校生を対象とした企画をオンライン実施に置き換え、実施している大学が多くあります。現在行われている東京医科歯科大学の global communication workshop (オンライン) にも多くの日比谷生が参加しています。中には海外大学のオンライン講座を受講している生徒もいます！気になる大学をチェックし、

積極的に学びの場へ出て行きましょう！ グローバル事業部でも積極的に案内していきます。

### 【京都大学エルキャス応募概要】

対象：高校1年生または2年生 ※応募要項を確認し、各自での申し込みになります。

応募期間：7月13日（月）～8月12日（水）

詳細は、京都大学ホームページで確認してください。「京都大学エルキャス2020」で検索。

### 京都大学からのメッセージ

本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため「京都大学『えるきゃす』オンライン2020」としてビデオ通信などを活用した講座を開講することになりました。より高度な知識を「主体的に学びたい」という高校1・2年生を対象に理系15分野、文系3分野の計18講座を2020年10月から12月にわたりオンライン開講します。皆さんの挑戦をお待ちしています。

## ➡ JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2020

【コンテストの趣旨】このコンテストは、中学生、高校生を対象に発展途上国の現状や日本との関係について理解を深め、国際社会の中で日本、そして自分たち一人一人がどのように行動すべきかを考えるきっかけとする事業です。テーマを通じて、私たちのよりよい未来をつくるにはどのような課題があり、私たちにはどんなことが求められているのかを考え、そして、行動するきっかけをつかんで欲しいと考えています。

テーマ：世界とつながる自分 ー私たちが考えること、できることー

募集期間：6月7日（日）～9月11日（金）当日消印有効

賞：最優秀賞3名〔外務大臣賞、文部科学大臣賞、独立行政法人国際協力機構理事長賞〕、優秀賞3名、審査員特別賞4名、国際協力特別賞10名、国内機関長賞、他



副賞：最優秀賞・優秀賞には約1週間の海外研修、応募者全員に参加賞、他

高校生の部応募規定：文字数、本文1600字以内（400字詰原稿用紙4枚以内）

**※応募にあたっては、①応募用紙、②アンケート用紙が必要です。グローバル事業部まで取りにきてください。**

## ➡ 第67回国際理解・国際協力のための高校生の主張コンクール東京都大会



### 【コンテストの趣旨】

国連は国際平和の維持、人権の保護、経済や社会に関して国際協力を実現するための活動を続けてきました。しかし世界は貧困や飢餓、戦争、核の問題や地球温暖化など取り組むべき課題が依然として山積の状態です。世界の国々はこれまで以上に連携を強化し互いに協力する必要性にせまられ、国連に与えられた役割の重要性は以前にもまして大きくなってきています。

日本国際連合協会東京都本部は、国際連合の理念を尊重し、これを広く都民の皆さんに広めるため様々な事業を行っておりますが、その一環として2020年度も「国際理解・国際協力のための高校生の主張コンクール」東京都大会を開催いたします。国際連合（国連）、国際理解、国際協力に関する高校生の皆さんの自由なご意見を聞かせてください。

募集期間：9月2日（水）必着

賞：特賞（2編）優秀賞（3編）審査員賞（1編）努力賞（14編）

※入賞者のうち特賞2名の作品を2020年10月15日（木）に行われる全国大会（中央審査）に推薦する。（中央審査での優秀者に対して、国連について学ぶ研修を実施する予定）

課題：①国連創設100周年の2045年、よりよい未来を迎えるための提案

②もしわたしが国連事務総長だったら、持続可能な開発目標（SDGs）の達成のためにこうします

③国際社会の課題解決に、国連を始めとする国際機関が果たす役割

以上のうちいずれか一つとする。副題をつけることも可。主張の内容は、学校、家庭、社会などにおける主張者の学習や体験あるいは実践などを通し、国際連合について述べたものとする。

応募規定：400字詰め4枚程度の主張原稿。なお、PCを用いて入力し、原稿用紙形式で印刷して提出も可能です。

**※応募にあたっては、応募用紙が必要です。グローバル事業部まで取りにきてください。**

### <高大連携プログラムやコンテストへの積極的な参加を！>

これからの大学入学選抜では、「学力の3要素（①知識・技能の確実な習得②〔①を基にした〕思考力、判断力、表現力③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）」について、より多面的・総合的に評価されるようになります。一人一人が積み上げてきた大学入学前の学習や多様な活動等に関する評価の充実が図られるということです。（その評価に対する準備として、皆さんはClassiを利用して、活動の記録を書き溜めていますね。）

高大連携プログラムやコンテストに参加することは、参加することでのあなた自身の思考の深まりや視野の広がりはもちろんのこと、参加歴や受賞歴はあなたの思考力や行動力の裏付け（エビデンス）として示すことができます。こうした活動に1、2年生のうちに積極的に参加しましょう！

## ➡ ニュージーランド大使館 エデュケーション・ニュージーランド オンラインセミナー

ニュージーランド大使館、エデュケーション・ニュージーランドより Zoom によるオンラインセミナーのご案内をいただきました。本校からはニュージーランド研修対象生徒8名が参加しました。

セミナーでは「ニュージーランド政府による COVID-19 の対策」などのタイムリーな話題から、「SDGs (Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標) をテーマとしたニュージーランドの観光・ビジネスのトレンド」など、現地の風土や文化を感じられる数多くの情報を得ることができました。

### 【セミナー内容】

#### 第1回「ニュージーランド政府による COVID-19 対策、留学生への対応について」

スピーカー：エデュケーション・ニュージーランド 東南アジア・韓国・日本局長 ベン・バローズ 他

#### 第2回「ニュージーランド中学・高校からの現地レポート」

スピーカー：ワイヌイオマタ高校 国際課代表 片岡大路

#### 第3回「ニュージーランド中学・高校 オンライン学習デモンストレーション」

スピーカー：エデュケーション・パーフェクト 教育コンサルタント ディア・ジャリル

#### 第4回「ニュージーランド大学、ポリテクニク、英語学校からの現地レポート」

スピーカー：アスカイ・インターナショナル 日本担当マネージャー ターナー(大川) 民恵 他

#### 第5回「SDGs (Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標) をテーマとしたニュージーランドの観光・ビジネスのトレンド」

スピーカー：ニュージーランド政府観光局 日本局長 猪膝直樹 他

## ➡ グローバル委員会の説明会を開催！（全学年対象）

今年度もグローバル委員会がスタートします。グローバル委員会は、生徒の立場でグローバル事業に関する活動を盛り上げていく自主的な委員会です。クラスの委員や係と兼務できます。

グローバル事業に関わるさまざまな活動の準備・運営や広報活動として Global Journal の記事作成、そして自主的な活動を展開します。例えば、昨年は、慶應義塾大学経済学部の留学生の皆さんと交流をもち、「日本の未来を考える」と題して日本の英語教育について議論する企画、留学生の母国の文化を理解するため出身国のスポーツを紹介してもらいながら、まったく新しいスポーツを創造する企画などを実施しました。

東京グローバル10 (G10) に興味、関心のある人は、学校からのG10に関する情報をいち早く知ることができます！日比谷高校での生活を実りあるものにするための一つの良い機会です。ぜひ積極的に参加してください。

### グローバル委員会開催！

【日時】 7月14日（火）昼休み 12:50 ～

【場所】 書道教室（三階）

【内容】 活動の説明、委員登録、今後について

